

2010年度

第十五回三河湾チャリティー 100キロウォーク

参加者感想レポート



開催日：2010.10.23～24

作成：出場メンバー

①わかはやし美容室 黒神林太郎

100 *。チャレンジさせていただいて、たくさん考え感じさせられました！

初めての体験で先もみえずただただ歩き何度も心は折れました…

何も考えず涙が溢れました、理由はすぐにわかりました…

50 *。地点で完全に折れました、「ここまできたいいな、もう無理、いいやろ」冷たい雨がさらに身体を重くして座り込みました。そこに、ちょうど社長から電話があり、電話の奥からスタッフの「頑張れ〜！」の声援心が震えました、涙が止まりませんでした、みんなの声が心を燃焼させました、身体にエネルギーをもらいました。そこから先はどんな温かいおでんより、おにぎりより、スポーツドリンクより、みんなの声が支えてくれました。本当に。

その後また折れましたが、諦めませんでした、リタイアした後輩がいるから、先に行く友人がいるから、寝ずに応援してくれる妻がいるから。

生きるとはひとりじゃないんですね、自分は正直支えられたいし支えたい！

100 という数字は特別な気がします、頑張っただけでは届かない、自分の心を動かすものを大切に、信じなければいけないのかなと！

これからも形は違ってもチャレンジし続けます！

沈む月、登る太陽に日々感謝です(´_>`)

② and A 山内綾子

100キロウォークの際は、いろいろと準備、手配など本当にありがとうございました。

北田さんのおかげで無事に終えることが出来ました。重ね重ねお礼申し上げます。

メールをいただきました感想の件ですが、一言だけですが送らせていただきます。

今回、初めて大会に参加させていただきました。

今まで参加された人を見てきて、大変だと言うことは分かっていたつもりでした。

自分でも覚悟していたつもりでしたが、大会が近づくにつれ周りの反応が強くなり、「もう直ぐですね」「すごいですね」などと言われ、前日スタッフからの「応援しています」「頑張っって」と声をかけられる多さに、うれしい反面、何か、とてつもない事を私しようとしているのかな？・・・と不安になりました。

一緒に参加してくれるスタッフがいた事がとても心強かったです。

会場につき、朝早くからもうこの人数です。

出場者をはじめ、何より大会サポートの方々の多さにびっくりしました。

大会がスタートし、第一チェックポイント。

・・・着かない。甘さを実感しました。後半の為にとスローペースではあったので、時間が経つにつれ危機感をすでに覚えました。

やっと到着し、多少の脚のほりも感じながら時間がないのでスタートしました。

次のポイントへ、一緒に参加したスタッフと、前回参加したスタッフの凄さを語りながらの道のりでした。

次のポイントには、ウディチキンのサポートの方々がいるということが、頑張る支えになっていました。

脚も少しづつ傷みが感じられてきていました。ポイントで皆さんの顔を見ることが出来、一生懸命休むこともなくマッサージされている姿を見て、励ましの声を頂き、元気をもらって出発する事ができました。

もうすでに当たりは暗くなり、ここから本当の意味での戦いが始まりました。

次からのポイントでは、サポートの方々にマッサージをしていただかないと次のポイントには進めないという感じでした。

マッサージ待ちに行列です。サポートの方は本当に息つく暇なくマッサージをしていてくれました。

夜中から朝方にかけては、本当に歩かないと前に進めない事を実感しました。

脚の痛み、心細さ、スタッフと励まし合いながらの道のりでした。自分は一緒に参加したメンバーの中では一番の年上。

スタッフを気に掛けながらも、自分も精一杯の時もあり、逆に励まされたり。通常の生活では味わえないやり取りも出来ました。

なぜなのかは分からないけど、涙が出てくることもありました。脚の痛みに絶え、心細さに夜中お店のスタッフに電話し、涙しながら歩くスタッフを見ながら私も感情が高まり、変わってもらった電話の声に涙がとまりませんでした。

大会の最中、お店のスタッフから励ましメール。気晴らしのメール。たくさん頂き何度となく励まされました。

「歩いている最中にどうしても折れそうになったら、あけて見て下さい。きっと元気になります！」と小さい袋(バッグ)を頂きました。

究極まで我慢しようと頑張りましたが、朝方あけました。中には応援のメッセージ。あめなど様々なものが入っていました。

そして小学生の子供から「自分に負けるな！」と……。涙と笑がこみ上げました。本当にありがたかったです。

皆さんの優しい気持ちに、感謝と何とも言えない気持ちで胸がいっぱいでした。

最後の方では、10回目だという最年長と思われる方との出会いもありました。

そして何とかゴールすることが出来ました。

この大会に参加させて頂いた事で、いろんな事を学ばせて頂き、人の温かさ・仲間の優しさ、有難さを感じる事が出来ました。

本当に大会の運営、サポートしてくださった方々、準備・応援してくれた皆さん。一緒に歩いたスタッフ。皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。

本当に貴重な体験をありがとうございました。

まとまりのない文章ですみません。

(有)アンドー 山内綾子

③ (有)ペーニュの酒井です。

100キロの時はありがとうございました。

最近やっと体の痛いところもなくなってきました。今回100キロ歩かせてもらうことで自分の中でも気付きがたくさんあり、大変だったんですけど凄く楽しかったです。いい経験ができました。

来年は、北田さんと同じスピードで歩いてみたいので来年もよろしくお願いします。

『100キロ歩いての感想』

10月23日～24日に100キロウォーキングに行ってきました。

初挑戦の100キロ出場するきっかけは1年前に、100キロウォーキングの話聞き『歩き終わったら少しの段差も上がれなくなるだとか、ものすごい達成感を味わえる』と言うのを聞き『経験してみたい』と出場を決めました。

本当は去年出るはずだったんですが、色々あり出ることが出来ず1年前はかなり悔しい思いをしました。1年越しにできることができ、嬉しい反面、100キロ完歩できるか不安でいっぱいでした。

いよいよ本番当日歩き出す前から緊張していました。スタッフ3人で出場させてもらったんですが、2人には凄く助けられました。29キロ地点に向かう途中トイレに行きたくなり、2人でトイレに行き1人先に行ってもらったんですが、中々追いつけずやっと追いつけたのが、何時間も後でした。久しぶりに3人揃ったときは、安心したし凄く心強く感じました。仲間が側にいるだけでこんなに違うものなんだなと思いました。自分的には、52キロ～84キロの間が1番、体も精神的にも辛かったです。他の参加者も辛らしく、途中で座り込んでいる人や、歩いてる途中で急に座り込み泣き出してる人がいたり、凄く大変でした。一人で心がおれないように口角をあげたり、頑張れと言ったり必死でテンションをあげていました。そんな時に心の支えになったのが、同じ会社のスタッフの応援メールでした。応援メールは涙が出そうになるぐらい励まされ、元気をもらうことができました。100キロのゴール目前になった頃、体も心もボロボロになっていたんですが、不思議と力が湧き3人走ってゴールしました。

今回100キロウォーキングに出場させてもらうことができ、この大会の目的通り『多くの感謝、感激、感動』を体験させてもらうことができました。この大会のことを教えてくれた北田さん、名古屋まで連れていってくれて、サポートしてくれた社長に常務、応援してくれた会社のスタッフ、大会の関係者のみなさん、そして最後まで一緒に歩いてくれたむっくんとしんやくん、本当にありがとうございました。今回の完歩は、もし1人だったら出来てなかったと思います。色んな方のサポートがあったからこそできた完歩です。本当に感謝しています。来年も出たいと思います。

④ 100km 歩行挑戦者 松家 浩二

1回目の挑戦は2008年に行い途中多くの励ましを受けたものの70km地点にて、からだ動かず挫折してしまった経験があり今回も正直大丈夫かと正直不安でした。

今回の挑戦は同じ仕事の仲間と3人で「絶対100kmを完歩するぞ」という意気込みにて参加させて頂きました。

今回の大会にて感じたことは多くのサポーターの方々及び仲間との励し合いにて自分のからだはいくらでもコントロールできるのだなと感じました。スタートの地点にて「無理を承知にて限界まで無理をして自分を知ってください」とアドバイスを受けた事が忘れられません。

普段の生活の中においてはまず体感できない事が今回のこの大会にて受けた事としては、自分自身を信じてあきらめない・仲間を信じて励ましあう・多くの人からサポートされて人との触れ合いがあれば世の中には不可能な事はないと感じました。

たぶん一回目と同様に多くの人からと励まされる仲間と励ましあう事がなければ途中にて、からだを蝕む疲労と痛みと心の中に悪魔が舞い降りてきて自分自身をコントロールできなかったと感じました。

しかし今回は、仲間との励まし合いと多くの人達からのサポートのお陰にて100kmの道中は苦しみもあまりなく反対に楽しく過せたのが実感でした。

本当に自分を信じて、人から感謝を受けて、自分以外の人を励ましサポートする心があれば何でもできると事に感銘を受けました。

最後に多くの人からサポート(感動・感謝)を頂き感謝しております。

皆様、本当にありがとうございました。

⑤ Peigne 齊藤真也です

『100km 歩きを通して感じたこと』

社会に出て働きはじめてからこれといったスポーツや体を動かすということはほとんどなく、今回はかるいノリで出てみようかなあ…という感じで参加することになりました。

一緒に参加した2人は前回のときからずっと参加したい気持ちがあったみたいなのですが、僕は本当にかるい気持ちで『100km くらいただ歩くだけやから余裕かな…』と思っていました。そんな気持ちで朝9時にスタートしました。

それまで練習で長くて25、6kmは歩いた経験があったので3、40kmくらいは何の問題もなく簡単に歩くことができました。

だんだん日も暗くなりはじめスタートして10時間超えたくらいから次第に足に痛みを感じるようになり、それでもまだ半分以上歩き続けなければなりません。

自分がかるい気持ちで参加すると行った言葉を後悔すると同時に足の痛みも増していきました。

夜中0時をまわったあたりからが本当の地獄のはじまりでした。

何度も心が折れそうになりながらも一緒に歩き続けてくれていた2人の仲間が『頑張りましょう、大丈夫です…』と、いつも励ましてくれ、遅くなった僕のペースにあわせてくれてとても支えられました。

深夜3時、4時、5時くらいには同じ店のスタッフから応援メッセージ付きの写メをもらってそれには本当に感謝の気持ちで涙か止まりませんでした。

あと少しといっても10km、5km…と長くて辛い時間が続きましたが、そんなとき一緒に歩いている仲間や応援してくれているスタッフ、地元の方々に支えられながらやっとの思いで仲間と一緒にゴールすることができました。

その日から2、3日は痛みもあり、もう二度と出たくない…と思っていましたが、痛みがひいていくとまた参加してもいいかな?と思うようになりました。

自分が出たくて参加したことが今まで生きてきたなかでも一番苦しく辛かったのですが、これから生きていくなかでとても大切なことを学びました。一人では生きていけない、たくさんの人に支えられて、今の自分があるというのをこれからも忘れず生きていきたいと思えます。

⑥ 100kmウォーキングを終えて

今回は3回目の参加になりましたが、今までの中で一番大変で辛く、そして感謝し一番感慨深い気持ちになった100kmウォーキングになりました。

思い出すと色々なことが走馬灯のように思い出されます……。

20kmあたりで靴が合わなく足が痛くて辛い時に一緒に歩いてくれたミツイコーポレーションの大石君と友達の玲子ちゃん。あの時に一緒に歩いてくれなかったらきっとあまりの痛さに辞めていたかもしれません。

今回、42km、82kmのチェックポイントにウッディーの仲間がいたことが、歩く気力を与えてくれ、特に素晴らしいマッサージをしてくれた、僕の尊敬するバグジーの久保先生、ナップの安井さん……あの時のマッサージが後々、僕の足の状態が良くなるきっかけになりました。(ありがとうございます)

今回も先回同様に、52km~82kmまでは本当に辛くてくじけそうになったときに、ミスエッセンスのマユミさんから応援の電話を頂き、贅沢なことにスタッフの方まで応援の電話を頂いて、とても感激いたしました。(応援グッズももらいました)

辛い時には必ず図ったようにスタッフから電話の応援が……そして一番しんどかった65kmくらいでスタッフがわざわざ現地まで応援に来てくれて、びっくりしたことと感激で全ての痛みが吹き飛んだことを今でも鮮明に憶えています。

ありがとう、みんな!

いつも見られているかのごとく、大丈夫?って電話をいただいた北田先生。

ゴールで僕を迎えてくれて、よく頑張った！と、ねぎらいの言葉をかけてくれて、本当は泣きそうなくらい感激しているのですが、恥ずかしいので心にしまっておきます。
ほんとうに今回は感動の100kmウォーキングでした。

この文章を書きながら、とても感慨深い気持ちと完歩した喜びで涙が止まりません。

今まで、誰の力にも頼らなくても一人で生きていけると思っていました。100kmウォーキングを経験し、応援して下さる運営スタッフの方々、沿道で応援して下さる方々、声をかけて下さるガードマンの方々、42kmと82kmで応援して下さったウッディーの仲間達、応援の電話をかけてくれたソウルメイトの仲間達、わざわざ応援まで来てくれ応援グッズまで作ってくれたジグソーの仲間達、いつもどこかで温かく見守って、ゴールでねぎらいの言葉をかけてくれた北田先生、たくさんの方々に支えられていると深く感じましたし、そして感謝の気持ちが溢れるほど出ている自分に気づきました。

歩くことで何が学べるのか良く分からない自分でしたが、今回の101kmウォーキングでたくさんのことを学ぶことができました。

⑦ Peigne 村上裕基

100キロ歩き今年が初参加でした。
100キロを歩くななんて普段の生活では絶対しないですよ。
自分ってどこまで頑張れるのかな。
参加することで今の自分変わるかも。
というのが今回100キロをチャレンジした理由です。

今回参加して感じたのは『仲間』です。
自分にはこんなにもたくさん支えてくれる人がいる。『仲間』ってこんなにも素晴らしいんだと感じました。
今回参加して本当に良かったなと思いました。

名古屋へ出発する前に応援メッセージをいっぱい書いてタスキをくれたスタッフ。
夜中足が痛くて痛くて心が折れそうになった時たくさんメールをくれたスタッフ、家族。
愛媛から名古屋まで車で送り迎えしてくれた社長。
現地で寝ずにずっとサポートしてくれた常務。
そして最初から最後まで一緒に歩いてくれた2人。
ほんとうのほんとうに、ありがとう！

⑧ レクリア 白石優実

私は昔から好奇心旺盛で、100キロウォーキングの話聞いた時も、やってみよう!!挑戦したい!!と2年程前から、思っていたのですが、サービス業でなかなか土日お休みを頂くのは他のスタッフにもすごく迷惑がかかるし大変な事がわかっていたので、諦めかけていたのですが…今年、思いが届いて、スタッフのみんなが「お店の事は任せて、100キロ頑張っておいで」と、大変にもかかわらず快く言ってくれて、参加する事が出来ました♪

しかも私の知らない間に、忙しい時間を割いて、手作りのポシットまで作ってくれていて、その中にはスタッフからの応援メッセージカードと、栄養ドリンクなどが入っていて、ホント感激でした。

そういう事もあり、何が何でも完歩!!!という思いは強かったです。

でも100キロという距離は、そう甘くはなく……歩き続けているとだんだん足の痛みが出てきて、日が暮れてからは、寒さと眠さと足の痛みが襲ってきて、ほぼ気力だけで歩いていた感じです。そんな中、またスタッフからの応援の電話や、ムービーメールが届いたり、一緒に歩いていた人が励ましてくれたり、サポーターの方々の声援があり、それがすっごく力になりました。

足が痛くて一歩一歩も小さいけど、前に進むうとするその一歩がすっごく大事で、諦めずやり続ける事でゴールという結果が出せる!という事にも気づきました。

完歩できたのは、周りにいた方々のお陰なので、とても感謝の気持ちでいっぱいです。
足の痛みはもう消えましたが、この感謝の気持はずっと忘れず、人の為に応援できたり、喜んだり出来る人になりたいと思いました。

機会があったらまた100キロウォーキング参加したいです。

すっごく良い経験が出来て良かったです。

有り難うございました。

完